

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担 当 課：都市局街路交通施設課
担当課長名：中村 健一

事業名	南港山東線（西浜3丁目～関戸1丁目）		事業区分	街路	事業主体	和歌山県						
起終点	自：和歌山県和歌山市西浜3丁目 至：和歌山県和歌山市関戸1丁目				延長	0.92km						
事業概要	南港山東線は、和歌山市西浜地内を起点とし、同市吉礼地内の県道和歌山橋本線交差点部を終点とする約8.0kmの都市計画道路である。当路線は、平成31年3月に供用した阪和自動車道と和歌山南SICと国際拠点港湾の和歌山下津港を結ぶ和歌山市南部における東西の幹線道路であるとともに、緊急輸送道路（第一次）として災害発生時の救助・救急・消火活動及び避難者への物資輸送の円滑化を図る上で重要な路線である。当該事業箇所の整備により、南港山東線の整備が完成することとなり、周辺地域の利便性が向上するとともに、現道の混雑緩和や自転車・歩行者の安全で快適な通行空間の確保を図るものである。											
H28年度事業化	S39年度都市計画決定 H28年度都市計画変更	H28年度用地着手	H30年度工事着手									
全体事業費	約7.5億円	事業進捗率	89%	供用済延長	— km							
計画交通量	18,700台/日											
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 15.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 8.3/77.2億円 事業費：8.0/76.8億円 維持管理費：0.4/0.4億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 128.4/128.4億円 走行時間短縮便益：117.4/117.4億円 走行経費減少便益：9.2/9.2億円 交通事故減少便益：1.8/1.8億円	基準年	令和2年							
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量：B/C=1.5~1.8(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量：B/C=13.9~16.9(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費：B/C=1.6~1.7(事業費±10%)</td> <td>事業費：B/C=14.1~17.0(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間：B/C=1.6~1.7(事業期間±20%)</td> <td>事業期間：B/C=15.0~15.4(事業期間±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量：B/C=1.5~1.8(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=13.9~16.9(交通量±10%)	事業費：B/C=1.6~1.7(事業費±10%)	事業費：B/C=14.1~17.0(事業費±10%)	事業期間：B/C=1.6~1.7(事業期間±20%)	事業期間：B/C=15.0~15.4(事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.5~1.8(交通量±10%)	(残事業) 交通量：B/C=13.9~16.9(交通量±10%)											
事業費：B/C=1.6~1.7(事業費±10%)	事業費：B/C=14.1~17.0(事業費±10%)											
事業期間：B/C=1.6~1.7(事業期間±20%)	事業期間：B/C=15.0~15.4(事業期間±20%)											
事業の効果等	<ol style="list-style-type: none"> ① 第一次緊急輸送道路に指定されており、災害時における、より円滑な防災拠点への物資輸送や被災地への救援活動が可能となる。 ② 両側に4.5mの自転車歩行者道を整備することにより、近隣学校への通学ルートとして利用する生徒の安全確保を図る。 ③ 和歌山市南部地域における東西軸が形成され、阪和自動車道と和歌山南SICから国際拠点港湾である和歌山下津港や西浜工業団地のある臨港地域へのアクセス性が向上し、周辺地域の利便性が向上する。 ④ 4車線の直線道路の整備により、現道の渋滞解消が図られ、快適性の向上が期待される。 											
関係する地方公共団体等の意見	・「第5次和歌山市長期総合計画」（H29.3策定）の重点整備区間に位置付けられている重要な路線である。											
事業評価監視委員会の意見	・事業継続を妥当と認める。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月1日に第二阪和国道が全線開通 ・平成30年度に阪和自動車道と和歌山南SIC、和歌山橋本線（和田～吉礼）、三田海南線が供用。 											
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率100%、事業進捗率89%											
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き、電線共同溝工事および舗装工事を推進し、早期供用を図る。											
施設の構造や工法の変更等	再生材の利用及びプレキャスト製品の使用等により、コスト削減に努めている。											
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時には、救助および物資輸送に必要な緊急輸送道路として重要な役割を担う。 ・和歌山市南部地域における東西軸が形成され、周辺地域の利便性が向上し、観光振興や企業立地、産業振興など地域経済の活性化に寄与する。 											

- ・主要渋滞箇所の西浜交差点の渋滞解消が図られるとともに、自転車歩行者道の整備により安全で快適な通行空間が確保される。
- ・B/Cは1.7（残事業：15.4）で、費用に対して十分な便益が見込まれる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。